

陳情第 4 号

「横田基地へC V－2 2 オスプレイ配備」の撤回を求める意見書の提出
に関する陳情

1 受理年月日 平成27年6月3日

2 陳 情 者 立川市錦町1－17－5

平和憲法を守りいかす立川連絡会

代表 平 和元（三多摩法律事務所弁護士）

3 陳情の要旨

「横田基地へC V－2 2 オスプレイ配備」の撤回を求める意見書を国に提出して
いただくことを、陳情します。

4 陳情の理由

2015年5月12日、防衛省及び外務省は、米国政府から米空軍横田基地に垂
直離着陸機C V－2 2 オスプレイを配備するとの通報があったことを正式発表しま
した。

オスプレイは、複雑な構造もあって、1989年の飛行開始以来墜落事故を繰り
返し、おおくの乗務員が命を失っています。つい最近も、5月18日（日本時間）
に、MV－2 2 オスプレイが米国ハワイ州において、乗務員に死亡者及び多数の負
傷者を出す事故を起こしたことが報じられました。こんど配備が打ち出されるC V
－2 2 オスプレイは特殊作戦用でとりわけ事故の懸念が多いとされています。

横田基地は、人口が密集した市街地に所在しており、基地周辺は住宅や学校や病
院などの公共的施設が多く存在しています。ひとたび墜落事故などが起これば人命
にかかわる大惨事となります。これまでも周辺住民は、航空機騒音に悩まされ、航
空機の部品落下といった人命にかかわる事故への懸念などから、日常生活での不安
が続いています。

昨年頃から、横田基地で、パラシュート降下訓練が激しくなっています。今回C
V－2 2 オスプレイが配備されれば、横田基地が海外戦闘の「出撃基地」に変貌す
ることは、明らかです。そうなれば、市民の命、生活を大きく脅かすこととなりま
す。したがって、オスプレイの配備を絶対に許すわけにはいきません。

市民の命と暮らしを守るため、「横田基地へC V－2 2 オスプレイ配備」の撤回を
求める意見書を国に提出していただくよう陳情します。

以上